

ロシアに対する省エネ支援事業（受け入れ研修）を実施しました。

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省の委託を受けてロシアから研修員10名（モスクワ州政府関係者、民間企業関係者）を招聘し、H29.10.23～H29.10.27の5日間、同国の省エネ政策の主目標であるビル省エネルギーについて研修事業を実施しました。

研修目標は以下の通りです。

- (1)日本の寒冷地のビル省エネルギー規制基準及び技術について理解するとともに、その知見をロシアのビル省エネルギーの制度設計に役立てる。
- (2)日本の省エネビル見学を行う。



研修内容は日本側から省エネルギー基本政策およびビル省エネルギー政策の講義から始まり、ロシア側からはモスクワを中心とした現状のビル省エネルギー政策状況について報告がありました。

また、日本の寒冷地（主に北海道地方）における建築時のビル省エネルギー基準および実例ビルに適用された省エネルギー技術について詳細に講義を行いました。

また都内の省エネルギービル優秀事例および省エネルギー熱供給プラントを見学しました。

研修の最終日には、ロシア側から本研修から得た情報を今後のビル省エネルギー政策立案時に参考とする活動計画が発表されました。また、研修生からは以下の意見がありました。

- 1)日本の寒冷地省エネ設計基準および省エネビル見学は非常に参考になった。
- 2)熱供給プラントに関しても最新鋭の技術が適用されており、自国のシステムの参考になった。
- 3)日本の公共ビルのエネルギー管理要領に関して学びたい。

ロシアは公共ビルのエネルギー管理に関し責任管理体制を含めて日本から学習する必要がある。

上記の意見を参考にし、今後の計画を検討する予定です。